



2026 年 8 月 4 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 オ ー ク ネ ッ ト
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 C E O 藤 崎 慎 一 郎
(コード番号：3964 東証プライム市場)
問 合 せ 先 取 締 役 専 務 執 行 役 員 C F O 谷 口 博 樹
(TEL. 03-6440-2552)

2026 年 12 月期連結業績予想の修正及び

配当予想（増配・特別配当）に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2026 年 5 月 12 日決算発表時に公表した 2026 年 12 月期(2026 年 1 月 1 日～2026 年 12 月 31 日)の連結業績予想及び配当予想を以下のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

1. 通期連結業績予想の修正について

(1) 2026 年 12 月期通期連結業績予想数値の修正 (2026 年 1 月 1 日～2026 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 72,000	百万円 11,500	百万円 11,350	百万円 7,500	円 銭 82.60
今回修正予想(B)	75,000	12,000	12,000	7,800	85.91
増減額(B－A)	3,000	500	650	300	3.30
増減率(%)	4.2%	4.3%	5.7%	4.0%	4.0%
(ご参考)前期実績 (2025 年 12 月期)	64,139	9,517	9,521	5,921	64.93 (129.85)

(注) 当社は、2026 年 3 月 31 日を基準日、2026 年 4 月 1 日を効力発生日として、普通株式 1 株につき 2 株の割合で株式分割を実施いたしました。上記における 2025 年 12 月期の 1 株当たり当期純利益は、株式分割考慮後の金額を記載しており、株式分割考慮前の金額は () 内に記載しています。

(2) 修正の理由

当第 2 四半期連結会計期間の業績について、第 1 四半期に続き、ライフスタイルプロダクツセグメント、モビリティ&エネルギーセグメントともに想定を上回り好調に推移し、増収増益となりました。

ライフスタイルプロダクツセグメントにおいて、特にデジタルプロダクツ事業では、新規ソーシング先の強化により流通台数が増加したほか、為替の影響もあり平均成約単価が好調に推移した結果、取扱

高が増加しました。また、モビリティ&エネルギーセグメントにおいて、特にオートモビル事業では、中古車需要が引き続き高く、主に輸出事業者の落札が旺盛であり、総成約/落札台数が増加しました。

当第3四半期以降については、各セグメントにおいて、期初の想定通り堅調に推移すると見込んでおり、2026年12月期の通期連結業績予想を修正することといたしました。

2. 配当予想の修正について ～業績予想修正による増配と資本効率向上に向けた35億円の特別配当～

(1) 2026年12月期配当予想の修正 (2026年1月1日～2026年12月31日)

基準日	1株当たり配当金(円)		
	第2四半期期末	期末	年間合計
前回予想 (2026年5月12日発表)		21円00銭	42円00銭
今回修正予想		61円00銭 (普通配当22円00銭) (特別配当39円00銭)	82円00銭 (普通配当43円00銭) (特別配当39円00銭)
当期実績	21円00銭		
(ご参考)前期実績 (2025年12月期)	11円00銭 (22円00銭)	18円00銭 (36円00銭)	29円00銭 (58円00銭)

(注) 当社は、2026年3月31日を基準日、2026年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施いたしました。上記における2025年12月期の1株当たり配当金は、株式分割考慮後の金額を記載しており、株式分割考慮前の金額は()内に記載しています。

(2) 修正の理由

当社グループでは、株主の皆様への利益還元を経営における最重要課題の一つと位置づけています。将来の事業展開と経営体質の強化及び設備投資等に備えた内部留保を確保しつつ、連結配当性向50%以上を目標として、継続的な配当を行うことを基本方針としています。

①普通配当の増配及び特別配当の実施について

2026年12月期の配当予想につきましては、上記の基本方針及び業績予想の上方修正に伴う「普通配当の増配」に加え、資本効率の向上を目的とした「特別配当」を実施することといたしました。中期経営計画「Blue Print 2027」において設定していた「M&A等への投資」70億円のうち35億円を原資として特別配当に充当し、当期の年間配当予想を1株当たり82円といたします。

②今後の成長投資と財務方針

なお、中期経営計画「Blue Print 2027」の「M&A等への投資」につきましては、残りの35億円に加え、直近の業績好調に伴う営業キャッシュフローの増加により、十分な投資余力を維持できていると認識しております。今後も盤石な財務基盤を維持しつつ、最適な成長投資の機会を継続して探求するとともに、更なる資本効率の向上を図ってまいります。

株主の皆様のご期待にお応えし、当社株式への投資魅力を一層高めるため、引き続き更なる株主還元の充実を目指してまいります。

※ 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上